



ハイアット セントリック 銀座 東京のスタンダードルーム、デラックスルームに採用された大和重工の鋳物ホーロー浴槽。
ほかの素材では実現できない、なめらかな肌触りと輝く美しさ

きらびやかな GINZA の街に、 世界で注目される新ブランドホテルが誕生 宝石をまとったような美しさの浴槽が、 客室の魅力を引き出す

伝統を守りながらも、常に目新しいもの、斬新なものを受け入れ発展してきた街・銀座。さまざまな場所に、さまざまな物語、人々が育んできた文化がある。そして、その文化を現代風にアレンジして誕生した「ハイアット セントリック 銀座 東京」。その客室内にある鋳物ホーロー浴槽もまた、日本の伝統、文化を受け継いだ逸品である。

“日本の銀座”から“ 世界のGINZA”へ

日本有数の繁華街である銀座。街は老舗百貨店や高級ブランドショップが軒

【施設概要】
ハイアット セントリック 銀座 東京
開業日=2018年1月22日
インテリア設計=(株)ストリックランド
所在地=東京都中央区銀座6-6-7
TEL=03-6837-1234(代)
延床面積=11,905.23㎡
客室数=164室

を連れ、連日、観光客でにぎわっている。さらに拍車をかけるように、街には急増するインバウンドゲストの波が。2010年は、850万人程度だったインバウンドゲストも、今年間で約3000万人。そのゲストを迎え入れる街のシンボルが「GINZA」である。そのGINZAに、アジア初上陸となるハイアットブランドが1月22日に誕生。その名も「ハイアット セントリック 銀座 東京」。

5タイプで全164室

同ホテルは地上12階建ての東京銀座朝日ビルディングの3~12階部分に位置する。全164室の客室は、スタンダード、デラックス、スイートタイプに加え、最上階に「ナミキスイート」を設置。全5タイプの客室から構成されている。

客室を含むホテル全体のインテリアデザインは赤尾洋平氏率いるストリックランド。同ホテル周辺で繁栄していた新

聞社、出版・印刷業の名残を、アートワークやインテリアデザインとして、随所に遊び心を込めて表現した。

伝統と革新の結晶として賞賛される 鋳物ホーロー浴槽

伝統と革新を併せ持つように設計された客室は、35㎡以上の広さを持つ。その客室内でも、ひととき輝くのが宝石をまとったような美しさを持つバスタブ。このバスタブは、“鋳物ホーロー浴槽”と呼ばれる代物で、お湯や水を張ると水面がマリンブルーに輝くのだ。また、耐久性や保温性にも優れており、肌触りはなめらか。汚れも付きにくいことから世界から「最高級の浴槽」と評される。

豊富なデザイン性と 信頼された技術力で採用

全164室のうち、154室に採用され



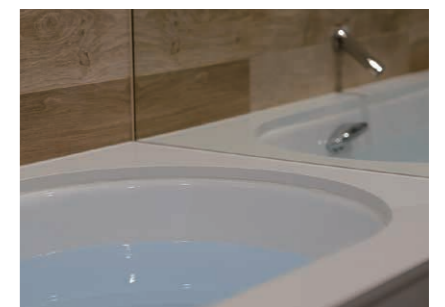
た浴槽の製造・販売会社は広島県に本社を持つ大和重工。同社の創業は天保2年。180年以上の歴史を持ち、たしかな技術力でモノづくり大国・日本を体現する企業である。

鋳物ホーロー浴槽を選定したデザイナーによると、「日本に初上陸したハイアット セントリック 銀座 東京という日本初ブランドが求めるものと、伝統技術を現代に引き継ぎながら製造された鋳物ホーロー浴槽が、同ホテルがコンセプトにマッチすると考え、採用しました」。

ホテルブランドごとに対応したデザインも決めての1つ。GINZAという街に、新しいライフスタイルホテルとして生まれたハイアット セントリック 銀座 東京。その街の伝統と斬新さを兼ねたホテルイメージに、大和重工の鋳物ホーロー浴槽がマッチしたと言えよう。



洗い場付きのバスルーム



お湯や水を張ると、水面がマリンブルーに輝く。
鋳物ホーロー浴槽の魅力の1つ

鋳物ホーロー浴槽とは、溶かした金属を型に流し込んでつくったものを鋳物といい、鋳物ホーローはその表面にガラス質の粉を溶かして焼き付けたもの。あたたかも宝石をまとったかのような美しい輝き、そしてなめらかな肌ざわりが特徴。

大和重工株式会社

本社・工場=広島県広島市安佐北区可部
1-21-23
TEL=082-814-2101
<https://www.daiwajuko.co.jp/>